

## 佳作

### 夢

宮城県岩沼市立岩沼中学校

2年 大友 菜々夏

「夢を見ることができれば、それは実現できる。」ウォルト・ディズニーの言葉である。この言葉からどんな印象を持つだろう。その通り、と思う人もいれば、そんなに簡単ではない、と思う人もいるはずだ。どちらが多いのかは分からない。私自身はといえば、簡単ではないと考えている。

私には、将来の夢が見えなかった。興味のある職業を見つけても、心のどこかで私には無理だ、向いていないと諦めてしまうのである。中学2年生にもなると、将来のことも少しずつ視野に入れていかなければならない。それは分かっているのに冷めている。夢がないという事実は私にとって大きな問題だった。

夏休みに入る前、担任の先生との二者面談で「将来の夢」について聞かれた。私は決まっていない、としか答えられなかった。今まで生きてきた中で、なりたいと憧れた職業はある。パティシエ、花屋、保育士、教師……。どの職業も魅力的だと思う。しかし、今憧れを感じるか、と考えると、どれも違うような気がしたのである。

二者面談をきっかけに、私はやってみたいと憧れを感じる職業について本気で考える機会が増えた。

しかし、すぐに見つかりそうに思えたものの、実際は難しい。私には何から考えたらいいいのかさえも分からなかった。

そんな中、ある言葉が私の頭をよぎった。それは

「高校は偏差値で選ぶんじゃない、自分のやりたいことで選ぶんだ。」

という言葉だった。この言葉は私の考え方を一変させてくれた。

私は「向いていそうなこと」から考えようとするをやめた。数学や理科が苦手な私にとって、理系の職業に目を向けたことは今までになかった。向いていないだろう、と初めから決めつけていたからだ。私には向いていないと言われても、実現できないと思っても、かなえたいと思える夢を探した。見つけることは困難だ、そう思いつつもインターネットでさまざまな職業を調べるうちに、見つけることができた。

それは、薬剤師――。

今まで知らなかった職業ではないが、今の私は「薬剤師」という職業に強く憧れを抱いたのである。この職業にも、いろいろと種類があるが、私は新薬を開発する仕事をしてみたいと憧れた。

私自身、手術を受けた経験はない。しかし、この世界には手術を受けなければならない人がたくさんいる。それは、幼い子どもにとっては怖く、お年寄りにとっては体に負担がかかることだろう。もし、手術ではなく、安心して服用できる薬で治せるとしたら、病気と闘っている人にとっては希望を持てるような気がしたのである。そんな薬を私の手で自らつくってみたい、と強く思うようになっていた。

向いていないかもしれない。それでも、今の私の夢は薬剤師だ、と少しだけ胸をはって言える気がしている。

「夢を見ることができれば、それは実現できる。」ウォルト・ディズニーのこの言葉は、そんなに簡単ではないと考えていた。そう考えていた私は「夢は見るだけでかなう」と解釈していた。今はこう思う。夢を見て、その夢に向かって努力することができたのならかなう、と。私の解釈の仕方が変わったのは、将来の夢を見つけたからだと思う。

人は自分が思っているよりも簡単に変われるものかもしれない。きっかけは、些細なことでもいい。誰かの言葉でも、好きな映画のワンシーンでも。

些細なことからも、自分が持った印象を見つめ直し、考え方を変えてみたいものである。考え方を変えることで、きっと新しい自分に出会うきっかけになるからだ。大切にしたいと思える夢や目標にも出会えるかもしれない。

未来の私は、どんな生き方をしているだろう。つらいことも多いかもしれない。しかし、そんな時こそ、自分の考えを見直して、小さな魅力を探し出していこう。小さな魅力を見つけることで、少し楽になると思うから。

「向いていない」と誰かに言われても、自分で思ったとしても「やり遂げたい」という気持ちを忘れずに前を向ける人が自分の理想像である。未来の私は理想に近づいていることと信じている。

口で言うだけでは、始まらない。夢も理想の人物像も見つけた。あとは、実現するだけである。

これから一生続いていくであろう、自分を理想に近づける努力を始めていこう。